

## ファルコバイオシステムズ (コード 4671 東証・大証 1 部)

業績推移(連結) (予想数値は会社発表分) 配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常		一株当たり		配当 性向	売上高 経常利益率
		伸び率	利益	伸び率	純利益	配当		
07.9	35,092	+6.9	1,340	+6.6	57.9	20.0	34.6	3.8
08.9	37,461	+6.7	853	-36.3	9.5	20.0	211.2	2.3
09.9(予)	39,700	+6.0	840	-1.6	26.4	20.0	75.8	2.1

### 臨床検査受託の大手、顧客数で業界屈指

**特色**...血液検査など臨床検査受託業の大手。関東、東海・北陸から九州・沖縄までの各都道府県を営業エリアに、取引顧客は医療機関約 18,000 施設、企業約 1,500 社で国内屈指。京都府久御山町の総合研究所を中核ラボに、6 カ所の基幹ラボ、25 カ所の地域ラボ、62 カ所の営業所、約 900 台の営業集配車を擁し、きめ細かい検査受託体制を構築。地方の臨床検査会社や調剤薬局の M&A (企業の買収・合併) などで規模を拡大している。

### 08 年 9 月期は 2 ケタ経常減益に

**IT 事業での開発費増などで減益に**...08 年 9 月期は売上高が 07 年 9 月期比 6.7% 増で 12 期連続増となったが、経常利益は同 36.3% 減に。セグメント別売上高は、臨床検査事業および周辺事業：258 億 2,300 万円 (07 年 9 月期比 4.6% 増)、調剤薬局事業：116 億 3,700 万円 (同 11.9% 増)。臨床検査事業および周辺事業について、臨床検査事業では検体数が同 3.8% 増に拡大し、甲状腺検査やアレルギー検査などが伸びた。周辺事業のうち、IT 事業では医療情報システム (連結子会社コスミックで展開) の関連工事受注が拡大したほか、食品衛生・環境検査事業では残留農薬検査や衛生検査の受託が増加。また、調剤薬局事業では店舗のスクラップアンドビルドを進め、開局 6 店、閉局 1 店、フランチャイズ化 1 店を実施し、期末の店舗数は 78 店に。一方、売上高販売管理費比率は 28.8% (07 年 9 月期：30.9%) に低下したものの、コスト増加に加えて IT 事業における開発費用が当初の予想を上回ったことから、売上原価率が 68.5% (同：65.0%) に上昇。売上高営業利益率は 2.7% (同：4.1%) に低下した (08 年 9 月期営業利益：10 億 2,000 万円、前期比 28.7% 減)。

### 09 年 9 月期は 13 期連続増収も 2 期連続の経常減益へ

**今期も増収減益見通し**...09 年 9 月期は、13 期連続の増収見込みだが、石油製品の高騰に伴う要因を含めたコスト増により 2 期連続の減益となりそう。セグメント別売上高予想は、臨床検査事業および周辺事業：274 億 6,000 万円 (08 年 9 月期比 6.3% 増)、調剤薬局事業：122 億 4,000 万円 (同 5.2% 増)。臨床検査事業および周辺事業では、IT 事業で診療所向け電子カルテ「@home Dr.」(アットホーム・ドクター) の販売を開始するほか、遺伝子事業ではヒト遺伝子検査について全国展開を進めることで、遺伝カウンセリング体制を持つ施設を中心に遺伝子検査実施契約先を 30 施設 (前期 14 施設) に増やしたい考え。また、調剤薬局事業では、京都、大阪、富山、徳島に新規出店 (計 5 店舗) を計画しており、前期中に出店した店舗の通年寄与も売上増に貢献しそう。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。